

~特別協賛をいただいたみなさま~

私たち太白区のまちづくりを応援します!

太白造園クラブ

(有)阿部造園

(有)井上造園土木

(株)岩沼造園土木 (株)植耕

古積造園土木(株)

(有)五葉園

(株)芝玄

進藤造園土木(株)

(株)富田園

(有)八幡園

(株)横森造園

(株)ワタラグリーン

緑のご相談お任せください

不動産のご売却・
ご購入のご相談は
三井不動産リアルティ東北株式会社
長町センター
TEL Free
0120-141-449

〒982-0012 仙台市太白区長町南3-3-40
nagamachi@mf-realty.jp

宮城県知事(7)第3998号
(一社)不動産流通経営協会会員
東北地区不動産公正取引協議会加盟

三井のリハウス



電気は正しく安全に使いましょう

ご家庭で使用するテレビ、エアコンや冷蔵庫などの後ろ側にはたくさんのチリやホコリがたまりがちです。定期的に、コンセントを抜いて掃除しましょう。ただし、裏蓋をはずして中までの掃除は、専門家に任せましょう。

電気器具の掃除は、機器の効率を高め省エネにもつながります。



東北電気保安協会

理事長 春浪 隆夫
宮城事業本部長 佐々木 隆
仙台南事業所長 吉田 克彦

本部 〒982-0007 仙台市太白区あすと長町三丁目2番36番
TEL 022-748-0235(代表) FAX 022-748-1273
総合技術センター(山形) 支部事業本部(青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島、新潟)



タスキンレントオール
DUSKIN RENT-ALL

斎苑清月記

みおくり邸宅

太白区 まちづくり推進協議会会報

第32号

2022.9.1

本会は、地域が抱える課題の解決や魅力ある地域づくりを推進するため、区民と区との協働により、さまざまな事業を企画・実施しています

特集

日常を歴史に変える。

柳生・西中田商工振興会

柳生・西中田商工振興会は、JR南仙台駅西口の「中田西部地区」に令和3年3月16日に発足いたしました。

一年の活動期間を経て、会員数68社、役員13名、13のプロジェクトで活動しております。

当エリアは、東西の幹線沿いに地元企業が、南北にはチェーン店が軒を連ねております。

発足のきっかけは、地元のリーダー達が「商工会」の発足を悲願していたことと、「ただ通過するだけのまち」から「わざわざ来てくれるまち」に変えるため、「経済・歴史・文化」を継承する人を地域に残すためでした。

振興会には、起点となる場所や特産物が不可欠であり、今ある地域資源を顕在化させる必要がありました。まず、協力ををお願いしたのは、「中田神社」さんです。シンボリックで地域には欠かせない大切な場所です。年数回、大きなお祭りを



開催していますので、集客する力もあります。協力の快諾を得て、現在はマルシェや各種催し物を開催させていただいております。

次に「柳生和紙」さんです。明治から大正にかけて90戸が和紙づくりを行っていましたが、現在は1戸のみとなっており、後世に残したい伝統工芸です。現在は、「和紙で新製品の開発、販売」や和紙づくりの「体験ツアー」などが出来ないか考えております。

最後に、「樹齢1300年のかやの木」です。言い伝えでは、「源頼朝が平泉を攻めた際、この木に馬を止めた」とされており、この歴史ある木の力を借りて、地域の活性化を図りたいと考えています。現在は、地元小中学校の子供達から募集したキャラクターコンテストで最優秀賞「かやっくりー」のキャラクターグッズやパン、お菓子などを開発・販売しております。

こうした地域資源を活かした経済の活性化により、地元の担い手を育成し、子供達が地域文化も同時に継承していくことが振興会の目指す姿です。これからも、地域が明るくなる、様々なイベントや商品、サービスを発信してまいります。

柳生・西中田商工振興会 会長 早川英雄

“かやっくりー”だよ!
ヨロシクね!



柳生・西中田商工振興会 公式キャラクター

令和4年度 まちづくり活動賞受賞者

区内でまちづくりに関する活動を5年以上継続的に実践し、その成果が顕著である方々を5月18日に表彰しました。

個人の部

● 松永 なおみ

ハーブを通じた活動へ積極的に企画のアイデア出しを行い、地域住民が交流を深める機会を創出しています。

● 吉田 きぬよ

毎朝実施しているラジオ体操を契機とした、地域住民の健康増進や子供の早起き習慣の定着、地域の交流の場を創出しています。

団体の部

● かっこ語りの会

地域に伝わる伝説や歴史を市民センターや学校等で多世代にわかりやすく伝えることにより、地域の特色を生かした創造的なまちづくり活動を行っています。

● 三神峯公園愛護協力会

地域と連携しながら、継続的な三神峯公園の清掃活動や、樹名板等の設置による環境整備を行う活動に取り組んでいます。



(50音順・敬称略)

令和4年度 区民協働まちづくり事業

太白区民まつり

●10月16日(日) 9:30 ~ 15:00(予定)

●会場：杜の広場公園及びその周辺

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年度、一昨年度と中止ましたが、今年は感染症対策を十分に行い開催する予定です。

「みんなでつくる・好きなまち・たいはく」をテーマに、今回もステージ発表や商品販売のほか、多彩な催しを予定しています。



たいはくっこくらぶ

区内の小学校5・6年生を対象に、区内の自然、歴史、文化等に触れて、楽しく学ぶ「まちづくり塾」を開催しています。

今年も野菜収穫、レクリエーション、施設見学などを行っています。



ディスカバーたいはく

太白区の地域情報誌「ディスカバーたいはく」で紹介している区内の自然、名所などを参加者を募って巡る区内探訪会を開催し、太白区の魅力を再発見します。区内探訪会への参加者募集は、随時、市政だよりや仙台市ホームページに掲載します。



たいはく若者まちづくりフォーラム

東北工業大学と共同で、学生対象のまちづくりをテーマにした講座の開講や、まちづくりのための大学研究室と地域のマッチングを支援しています。



太白区まち物語

地域の成り立ちや歩み、地域資源等をまとめた、手づくりの地域誌や小冊子・マップの制作を支援しています。「山田・鈎取まち物語」、「八木松・郡山まち物語」を太白区まちづくり推進課窓口で販売中です。



令和4年度まちづくり活動助成事業 対象事業

区内に活動拠点を置く市民団体が自主的に取り組む創意工夫あふれるまちづくり活動に対し、区が必要な経費の一部（上限50万円）を助成する事業です。令和5年度事業の募集は令和5年1月中旬から開始予定です。

事業名	実施団体	事業内容
秋保・さかいの村のふれあい体験交流事業～里山の体験イベントを通じた交流活動～	さかいの地区創生会	秋保・境野地区において、地域外住民が参加するイベントを開催することにより、地域の魅力発信の機会を創出とともに、交流人口の拡大や若年層の移住・定住を促進する。また、地域資源である森峰山や旧街道等の整備を通じて、新たな資源の発掘を行い、さらなる魅力創出と地域住民の誇りの醸成を図るほか、産直市を開催し、観光者等に地元の野菜等をPRする。
住民参加を促す地域イベントの創出	八木山地区まちづくり研究会	八木山地区において、八木山イルミネーション・アート・プロジェクトを開催し、住民には見に来るだけでなく、LEDライトの設置に参加する等、主体的に参加・活躍できる環境づくりをすることにより、地域との関連の薄い若年層や子育て世代が地域づくりに積極的に参画する機会を創出するとともに、地域づくりの担い手となる若者世代のネットワーク形成を図る。また、近隣町内会や団体等との協働により、地域全体の活性化に繋げる。
だれもが行きたくなる“まち”づくり～「八木山テラス」構想～	金剛沢緑地愛護協力会	金剛沢緑地の南部緑地を地域住民の憩いの場とする「八木山テラス」構想を実現するため、緑地や遊歩道の整備、イベントを地域住民や関係団体等の協力を得ながら実施し、「だれもが行きたくなるまち」づくりの実現を目指した取組みを進める。
ながまち SDGsプロジェクト	一般社団法人ながまちマチキチ	長町商店街の店舗で実施されているSDGsの取り組みについて、学生が調査することで、学校で学んだものがどのように実践されているのかを体感する機会を創出する。また、調査した内容に関するポスターの作成及び展示により地域の方々へ向けて発表することで、地域におけるSDGsの認知度を高め、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいく。
三神峯“桜縁”のさらなる「発信」と『協働』の深化(第2章)	西多賀まちづくり推進委員会	三神峯公園において、地域住民が手掛けることが可能な桜の整備を行い、これまで以上の賑わいを創出し地域の活性化に繋げるとともに、樹名板製作や昔遊びと史跡等の学びを通して、次世代を担う子供達と大人(高齢者含む)の「世代間の繋がり意識」の醸成を図る。
楽元の森活用事業	楽元の森運営委員会	上野山小学校に隣接する「楽元の森」において、地域の資源として活用できるようツリーテラス等の整備や維持活動を行う。また、市民センターやPTA、近隣小中学校等関係団体と連携して、地域の子供を対象とした様々なイベントの開催により、地域一体となった子供の育成や地域づくりの担い手の発掘を図る。
わがまち富沢・西多賀地域住民の健康づくり“いきいきはつらつ100まで元気”	富沢健康サロン「緑の会」	高齢化が進む富沢・西多賀地域において、高齢者の関心の高い健康相談会等の開催を通じて、地域住民の健康寿命の延伸を図るとともに、地域との関わりが少ない高齢者などが外出して交流する場を創出し、互いに顔が見える安心な地域社会に繋げる。また、参加を促すために関心が高い健康に関する行事を医療専門スタッフやスポーツ関連団体と連携して運営する。

(50音順・敬称略)

わたしたちのまちづくり まちづくり活動紹介

生出において！「生出地区まちづくり委員会」

生出地区まちづくり委員会は、地区のまちづくりの在り方、活性化を検討するため、平成26年3月に連合町内会の中に諮問機関として設置されました。最初は、地域の課題やその対応策を話し合いましたが、「まずは活動してみよう！」との掛け声で、遊休農地の活用、高齢者の生きがいづくり、定住人口・若い世代を含めた交流人口の増加、生出地域の活力・魅力を増加させることを目標に色々な活動を行っています。基軸を農業とし、みんなで野菜を作り販売し、しそ巻・こんにゃく作り教室を行い、他の地域の方々に農業体験してもらう交流イベントを行っています。また、地域内の柿をみんなで収穫して干し柿を作り、スーパー・JAまつりで販売しています。商品には生出地区的オリジナルキャラクター「おいでもん」の表示をつけて、



地域おこしで活動していることを紹介しています。昨年は「太白区パン巡り」イベントのサンドイッチに生出干し柿を使ってもらいました。

東北工業大学の先生と連携し、古民家の再生や地域の地図作りも行っています。また、生出の梨野地区に、楽しく安心して集まる場所(ビニールハウス、調理場、交流空間)をみんなで作りました。素敵なトイレも完成しました。農作業、料理教室等、たのしい活動を行っていますので是非、ご参加ください。

これからも生出地域の活力・魅力がアップするような活動を行っていきますので、応援をよろしくお願いします。

(委員長 沼田恵美子)



中高生と乳幼児親子の居場所「kurutoながまち」

「コロナ禍での孤立を防ぐ」を目的に、令和2年11月にJR長町から徒歩3分の場所にオープンした「kurutoながまち」は、地域の子育て中の親子（0～6歳まで）や中高生（13歳～18歳）が、第三の居場所として自由に過ごしています。週2回の中高生の開催日には、同じ目線で一緒に勉強を教えてくれたり、遊んでくれる“大学生スタッフ”がいます。ピアソーターでもある大学生は、子どもたちと本気でボードゲームをしたり、ちょっとした学校の愚痴も聞いてくれるので子どもたちに大人気。また、月2回開催している0歳児からの親子のひろば“くるとこ長町”では、毎回



会場いっぱいになるほどの親子さんが参加されています。どちらの対象者にも共通しているのが、「コロナ禍で人の交流が減ってしまって出会いがない」ことです。安心して人と話したり、繋がれる場が欲しかった！という声多く聽きます。今後は人数制限を無くしたり、交流が促されるような飲食イベントも実施していきたいと思っています。一人で来ても大丈夫！スタッフがみんなの声を聞いて、共に遊び、そばにいるみんなの「居場所」に来てくださいね。お待ちしています。

(一般社団法人マザー・ウイング代表 理事 小川ゆみ)



「やるっちゃんボヌマ」～あなたの田舎引き受けます～

仙台市民の心のふるさと坪沼地区。春には鎮守の森の祭り、夏には螢のページント、秋には黄金色に輝く稲穂、そして冬には満天の星空と、四季折々に趣があり、古来より受け継がれる伝統や結いの文化が残り、宮城の桃源郷とも言われています。

この自慢の坪沼を後世へ残していくために2005年に地域おこし団体「やるっちゃんボヌマ」を結成し、「坪沼農園」や「田舎の収穫祭」、四季折々の田舎体験イベントを通じ、地域の活性化を図っています。

市内で初めての「栽培指導型坪沼農園」は、地域ぐるみで野菜栽培の楽しさや収穫の喜びを分かりやすく指導し、今年も30組の皆さん



が21品目の野菜栽培を通して、農園ライフを満喫されています。また、毎年11月3日に開催される「ここが坪沼田舎の収穫祭」は、今年で18年目を迎える坪沼のメインイベントです。採れたて新鮮野菜や新米等の軽トラ直売を始め、坪沼のプロ歌手「山田祥子さん」と山形の百姓シンガー「須貝智郎さん」の青空ライブ、優勝者には新米1年分が贈呈される「トラクターと人間との綱引き」、坪沼T-1グランプリ、トラクターの試乗・リースづくり・ポニーの乗馬体験、竹細工教室、窯焼きピザの試食など、盛りだくさんの内容で都市住民との交流を図り、地域の活性化に繋げています。出会い、ふれあい、分かち合い。やるっちゃんボヌマは、あなたの田舎引き受けます！

(事務局 佐藤達雄)

「法被(はっぴ)」「スタッフジャンパー」「AED」を貸し出します。

お祭り・イベント・スポーツ活動などにご利用ください！

※使用希望期間の重複などで、貸し出しができない場合があります。

※法被とスタッフジャンパーはクリーニングした上でご返却ください。

お問合せ／協議会事務局（太白区まちづくり推進課内：区役所4階）

TEL：022-247-1111 内線6137

太白区まちづくり推進協議会 役員紹介

会長／鈴木 公至	理事／後藤 伊佐夫	理事／嶺岸 若夫
副会長／大友 克人	理事／佐竹 和義	理事／山口 強
理事／岡崎 正行	理事／三野宮 利夫	監事／伊藤 文夫
理事／亀岡 留美子	理事／堀内 祥弘	監事／温 祐郎